



大和小だより ～令和7年2月号～

【学校教育目標】進んで学習する子 思いやりのある子 よく考えて行動する子 元気よく遊べる子
大和市立大和小学校 〒242-0018 大和市深見西 8-7-1 ☎046-261-0795



今年もピンクシャツデーがやってきました。(2月26日(水))

中学生の男子生徒がピンク色のポロシャツで登校したところ、からかわれていじめられました。

それを知った上級生が、「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と友だちに呼びかけました。

翌朝、ピンク色のシャツを着た生徒たちが次々と登校してきました。シャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。その日は、学校中がピンク色に染まりました。そしてその日以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。(日本ピンクシャツデー公式サイトから一部引用しました。)

私たちは、様々な環境で育ち、生活しています。趣味や好きなもの、価値観や倫理観なども一人ひとり異なっています。それらを認め合い、尊重し合うことは、難しいことなのかもしれません。いじめだけでなく、〇〇ハラスメント、差別、争い・・・昔から絶えることがないのは、認め合う、尊重し合うことの難しさが原因の一つではないでしょうか。

大和小学校の子どもたちも、一人ひとり豊かな個性を持っています。友だち同士が認め合い、尊重し合うことが大切だということも、全員が知っています。ただそのためには、「自分のことをわかってほしい、認めてほしい」ことよりも、「あなたの気持ちを理解するよ、認めるよ、わかってあげるよ」という寄り添う気持ちが大切だと思います。



実は、このことは、とても簡単な言葉で始めることができます。「ありがとう⇔どういたしまして」「ごめんなさい⇔こちらこそ」、自然に、この言葉が出てくれば、お互いの気持ちは、とても優しく温かくなります。

学校では、道徳をはじめ、あらゆる活動を通して、「相手の気持ちを尊重する」ことの大切さを伝えています。これからも、ご家庭・地域の方々の協力をいただきながら、大切なことを伝え続けていきます。

(2月26日は、私もピンク色の小物を身につけて参加します。)

(学校長)

小学生の我が子の図書館通いに付き合う中で、久しぶりに児童文学を読んでみました。自分が子どものころに読んでいた本を読み返すのはなかなかよいものです。

身の回りにはたくさんのデジタル機器があり、最近はずっと紙の本を読む機会が減ってしまいました。ドラマや映画を倍速で見る時代に、自分のペースで本を読み、物語の世界に浸るのはある意味で贅沢な時間の使い方ではないでしょうか。

情報過多で時間が足りないのが現代のように思います。全てを完璧に処理しようとしてはパンクしてしまいます。あれもこれもと欲張らず、本当に大切なものに注力するための判断力が必要な時代になっていくことでしょう。大人だけでなく子どもたちもとても忙しいように感じます。子どもが安心してのびのびと過ごせる世の中であるよう、大人たちが意識し合えるといいですね。

(教頭)